

# 高浜町議会議員定数見直しに関する報告書

## 1. はじめに

本報告書は、高浜町における議員定数の見直しについて、近年の人口動向、選挙状況、議会改革の取り組み、および他自治体との比較などを踏まえて検討した結果を整理し、全員協議会に報告するものである。

令和5年度に設置された議会改革特別調査委員会による調査・報告をもとに、令和7年度は計4回の議会運営委員会を通じて議員定数の在り方を協議し、その結果として\*\*「定数12名」への削減が妥当である\*\*との結論に至った。

## 2. 背景と課題

### ① 人口動向

- 高浜町の人口は令和7年5月1日現在 9,551 人。
- 将来的にも減少傾向が見込まれ、町の規模縮小への対応が求められている。

### ② 選挙の現状

- 令和5年4月の町議会議員選挙では、候補者14名に対し無投票で成立。
- 無投票選挙が続くことで、町民の政治参加意識の低下や議会の正当性に懸念が生じる。

### ③ 財政的影響

- 議員報酬を月額約6万円増額することを議決（報酬審議会へ）。
- 財政効率の観点からも、議員定数の適正化が求められている。

#### ④ 他自治体との比較

| 自治体  | 人口     | 議員定数 | 1人あたり人口 |
|------|--------|------|---------|
| 高浜町  | 9,465  | 14   | 676人    |
| おおい町 | 7,631  | 13   | 587人    |
| 若狭町  | 13,181 | 14   | 942人    |
| 美浜町  | 8,566  | 14   | 612人    |
| 南越前町 | 9,354  | 12   | 780人    |
| 小浜市  | 27,382 | 17   | 1,611人  |
| 敦賀市  | 61,863 | 22   | 2,812人  |

→ 高浜町の議員定数は、近隣自治体と比較して相対的に多い水準である。

---

### 3. 議会改革特別調査委員会による検討経過

令和5年度に設置された議会改革特別調査委員会では、以下の観点から議員定数について検討を実施：

- ・ 人口規模と今後の推移
- ・ 委員会体制の維持
- ・ 他自治体との整合性
- ・ 選挙における競争性の確保

その結果、「議員定数12名が妥当である」との報告が令和6年度に提出された。

---

### 4. 議会運営委員会における意見概要（令和7年度／計4回実施）

#### ● 現状維持（14名）派の意見

- ・ 地域住民の声を丁寧に吸い上げるためには、現行の14名体制が望ましい。
- ・ 人口規模から見ても14名は多すぎるとは言い切れず、削減には慎重を期すべきとの声。

### ● 1名減（13名）派の意見

- ・ 漸進的な削減が望ましく、まずは1名減とし、将来的な段階的見直しを検討すべきとの立場。

### ● 2名減（12名）派の意見（多数）

- ・ 特別調査委員会の結論を尊重すべき。
- ・ 人口減少や無投票の現状を踏まえると、12名が適正規模である。
- ・ 2常任委員会体制も維持可能で、現実的な対応である。

---

## 5. 今後の方針と手続き

議会運営委員会での意見集約の結果、「定数12名」を基本とする方向で概ね合意が形成された。

### 今後の対応方針

- ・ 定数12名とする条例改正案を議会事務局にて作成。
- ・ 常任委員会体制（総務産業、厚生文教）は現行どおり2委員会を維持。
- ・ 必要に応じて、広報紙等での情報提供・周知活動を実施予定。

### 想定スケジュール

令和7年9月定例会にて議員定数条例の改正案を提出。

---

## 7. おわりに

議員定数の見直しは、単なる「数の削減」ではなく、

- 町民に対する説明責任の確保
- 議会の活力と選挙の健全性の維持
- 報酬引き上げに対応した財政効率の改善

といった観点から、持続可能な議会運営を実現するための重要な取り組みである。

今後も町民の信頼と関心を高める議会運営に努め、適切な制度設計と広報活動を通じて、より開かれた議会を目指していく。

---

以上

令和7年10月8日 提出

高浜町議会 議会運営委員会

委員長 井上 順也